

1 章 血算

検査前プロセスの影響 [出居 真由美]	1094
有核赤血球出現時の血算の取り扱い [池田 千秋]	1098
MCV, MCH, MCHC に影響する因子と貧血分類における留意点 [槇 亮介]	1100
白血球著増時の自動血球計数の問題点 [伊藤 ゆづる・後藤 文彦]	1104
破碎赤血球の定義と評価 [菅原 新吾]	1108
網血小板数の測定と評価の注意点 [金子 誠]	1112
偽性血小板減少症の鑑別 ITP と診断する前に除外すべき疾患 [高野 勝弘]	1116
外部精度管理調査の落とし穴 [佐藤 尚武]	1120

2 章 血球形態

自動血球分析装置による白血球分画と目視分画値の乖離 [小笠原 洋治]	1124
強制乾燥と自然乾燥が形態に及ぼす影響 [朝比奈 彩・大畑 雅彦]	1128
反応性の異型リンパ球と腫瘍性の異常リンパ球 [土屋 達行]	1132
抗凝固剤(EDTA)による 骨髓標本の形態変化 [大畑 雅彦・高崎 将一・朝比奈 彩]	1136
骨髓塗抹像と LLA 測定値のずれ [稲葉 亨]	1140
系統由来や病型分類の判断に迷う腫瘍細胞 [荒木 美香・荒井 智子・松下 弘道]	1144
抗がん剤による細胞形態変化 [日下 拓・田中 由美子]	1148
骨髓検査での hematogones の検出 [山崎 悦子]	1152
胸腹水の細胞形態のバリエーション [内田 一豊]	1156

3 章 フローサイトメトリー

検体保存方法による MPO および リンパ球サブセット検査に対する影響 [池亀 彰茂]	1160
標識蛍光色素選択やコンペンセーションの注意点 [小川 恵津子]	1164
ゲーティングによっては見落としてしまう腫瘍細胞 [有賀 祐]	1168
細胞内抗原解析の注意点 [林田 雅彦]	1172
フローサイトメトリー検査と形態学分類による 骨髓腫細胞比率の相違 [永井 直治]	1176
フローサイトメトリーと免疫組織染色の結果乖離 [香月 奈穂美・中峯 寛和]	1180
診断に有用な異常発現(aberrant expression) [藤原 亨]	1184

系列同定が悩ましい白血球細胞・リンパ腫細胞 [池本 敏行]	1188
フローサイトメトリー法による hematogones と腫瘍細胞の鑑別 [渡邊 珠緒]	1192
抗体製剤の使用の影響 [西川 真子]	1196

4 章 凝固

採血管不良による APTT 延長事例を 踏まえた異常値への対処方法 [近藤 宏皓・久保田 芽里・大坂 直文]	1200
未分画ヘパリンまたはヘパリン類似物質(低分子量ヘパリン・ダナパロイドナトリウム・ フォンダパリヌクス)の混入による APTT 延長 [下村 大樹]	1204

APTT 試薬間での測定値の乖離

凝固因子感受性 [梶谷 亮太]	1208
ループスアンチコアグラント感受性 [徳永 尚樹]	1212
APTT 試薬のヘパリン感受性の違い [鈴木 典子]	1216

直接経口抗凝固薬(DOAC)使用時の凝固関連検査の 乖離(AT 活性および PS 活性検査試薬) [森下 英理子]	1220
エミシズマブによる APTT への影響 [山口 知子・長尾 梓]	1224
小児の一過性 APTT 延長 [岡田 直樹・藤澤 麗子・犀川 太]	1228

フィブリノゲンの偽低値

ヘパリン・トロンビン阻害薬の影響 [藤森 祐多]	1232
IgA M 蛋白血症 [新井 慎平]	1236
フィブリノゲン分子異常 [鈴木 敦夫]	1240

FDP や D ダイマーの上昇

採血不良 [高田 章美]	1244
腹水・胸水由来 [窓岩 清治]	1248
IgA 由来の非特異反応 [勢井 伸幸]	1252
血管免疫芽球性リンパ腫の非特異反応 [徳竹 孝好]	1256

不適切な遠心処理による血漿中残存血小板が凝固検査, 特に LA 検査に及ぼす影響 [小宮山 豊・松田 将門]	1260
組織液中の組織因子(TF)の混入による 凝固時間を用いた検査への影響 [松本 智子・下村 大樹]	1264
ヘマトクリットが凝固検査データに与える影響 [谷田部 陽子]	1268
複数の凝固因子インヒビター陽性(LAHPS/LLS) [内藤 澄悦・家子 正裕]	1272